

## 「内部統制セルフ・アセスメント」の実施について

第一生命保険相互会社（社長 齋藤勝利）では、従来からお客さまからの信頼確保、経営品質向上の取組みの一環として、事務リスクなどを中心にリスクの洗出しと評価を行なう活動を進めてきました。その中で「利息の追加支払」ならびに「お客さま情報の紛失」という事象の発生が確認されましたので、本日その内容を公表いたしました。このような事態を招き、ご契約者ならびに関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けすることとなり、心よりお詫び申し上げます。

これらを踏まえ、当社では内部統制態勢のさらなる充実を目的に、これまでの取組みや手法を体系化・標準化した「内部統制セルフ・アセスメント」を今年度より本格的に実施してまいります。

### 1. 「内部統制セルフ・アセスメント」とは

近年、内部統制の有効性を検証し評価する手法の1つとして「Control Self Assessment（以下CSA）」が普及しつつあります。CSAの手法はさまざまですが、当社ではこれまで実施してきたリスクの洗出し・評価の手法を踏まえて、CSAを「業務に内在するリスクを洗出し、その重要性和リスク発生の防止態勢を自己評価し、リスク抑制・業務改善につなげていく活動」と定義し、「内部統制セルフ・アセスメント」の名称で実施してまいります。

### 2. 具体的な実施内容

「内部統制セルフ・アセスメント」では、業務ごとに主要なリスクを洗出し、リスクが発生した場合のお客さまへの影響や損失の大きさなどの視点でその重要性を評価し、さらにリスク発生の防止態勢を評価することにより、リスクの状況を業務ごとに把握します。そのうえで、リスクの大きさに応じてリスク発生への対策を策定・実施し、リスクの抑制や業務改善を図り、適正化を必要とする事象を確認した場合には、速やかに対応を行なってまいります。

すでに一部の業務で「内部統制セルフ・アセスメント」を先行実施していますが、今年度から本社全部門を対象を拡大して本格実施いたします。

